

平成23年度 第3回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

1. 日 時

平成23年10月3日（月）午後2時00分 ～ 午後4時00分

2. 場 所

二宮町役場 2階 第1会議室（神奈川県中郡二宮町二宮 961 番地）

3. 出席者

- ・二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員
高橋会長
井出委員 原委員 西山委員 伊藤委員 池田委員
田邊委員 高見委員 井上委員
- ・事務局（二宮町政策部企画財政課）
秋澤課長 山口主任主事
- ・傍聴者希望者
なし

4. 議 題

- (1) 二宮町男女共同参画に関するアンケート調査の実施結果報告について
- (2) 「(仮称) 第2次 にのみや男女共同参画プラン」の策定に伴う検討について
- (3) 推進連絡会による推進活動の検討について
 - ・広報にのみや（11月号）への啓発記事の掲載
 - ・地域組織への出前講座の申込み状況
 - ・男女共同参画講演会（葛川サミット：中井町、二宮町、大磯町）への協力
 - ・自主的な男女共同参画推進組織の検討
- (4) その他

【説明等】

- ・ アンケートには 462 件の回答があり、回収率は33%となった。前回調査と比較し「社会全体」における男女の地位に関する意識は「平等」と感じている人の割合が増加している。家事分担の理想と現実を比較したところ、理想では「夫と妻が同程度」が望ましいが、現実では「妻」が負担している。「男女共同参画社会基本法」を知っている人の割合が減少している。行政が力を入れるべきことでは「保育・介護サービスの充実」や「女性の再就職支援」が求められている。自由意見では、男女共同参画の捉え方や考え方が人それぞれとなっている。

- ・ 行政内部の会議で策定方針が承認されたので、今後は方針に基づいて策定作業を進めていく。次回はアンケート結果等を参考に骨子案を作成し、検討を重ねて次年度の10月頃を目途に策定していきたい。
- ・ 啓発記事については、初めての試みとなるが、読み応えのある記事となった。原稿を活かしたいが、校正の段階で、文章表現や構成等を大幅に修正させていただくこともあるのでご容赦願いたい。
- ・ 出前講座については、「介護（認知症予防）」をテーマに「にぎわい塾とのタイアップ企画」として地区長連絡協議会で周知したが申し込みはない。地域の協力を得て1件でも実施したいところだが、無理に人集めをお願いしては本末転倒であるため、この状況も地域の現状として受け止め、手段の変更を検討していくことも必要と考えている。
- ・ 男女共同参画講演会については、葛川サミットで実施が決定した。葛川サミットは、広域連携の一つで、今回の講演会は実験的な取り組みとなっている。男女共同参画をPRする良い機会になると思う。
常磐ハワイアンセンターの開設にあたり、町の活性化に貢献した女性達の活躍を題材とした「フラガール物語」を講演いただく予定となっており、各町 100 名程度の参加者を集めたい。委員の皆さんには参加の呼び掛けについて協力をお願いするとともに、講演会当日にも司会や受付をお願いしたいと考えている。
- ・ 委員相互連絡用名簿に修正点が出たので新たな名簿を作成した。個人情報取り扱いや管理に十分ご注意ください。
- ・ 11月12日から25日までの2週間は「女性に対する暴力をなくす運動」の期間となっている。周囲でDV被害の相談を受けた場合には、相談窓口に連絡するようにご案内いただきたい。

【意見等】

- ・ 「夫は外、妻は家庭を守るべき」との考え方に対する意識について、女性はその年齢層も「否定」の回答が比較的多いが、男性は「肯定」と「否定」のバランスが拮抗している。これは男性の考え方が性別や年齢に関係なくバラバラだということなのではないか。
- ・ 昔ながらの考え方（慣習）に対する意識は、高齢になるほど「肯定」する傾向が多く見られる。逆に若い世代には「男女共同参画」の考え方が根付いていることがうかがえる。
- ・ 独身の回答者は、家庭に対する考えが固まっていないことも考えられる。

- ・ 「男女共同参画」という用語の周知率であればもう少し多いはず。
- ・ 設問の数が多いとの自由意見が見られる。設問数を少なくできないか。→設問数が多いと回収率が低下するほか、問題が複雑となり精度が落ちることが懸念されるが、そうすると細やかな状況を把握できなくなる。町レベルで対応できない取組みに関する設問は省略する等、次回は、回答者の負担軽減にできるだけ配慮したい。
- ・ 男女共同参画は定められた法律に則り進めているもので、町は努力義務で進めているところでもあるが、平成25年度から新たに始まる次期総合計画と足並みを揃えてほしい。
- ・ 策定方針の通り、国や県の上位計画や社会動向を勘案して作成することとなるが、「男女共同参画社会基本法」の第3条から第5条に定められた基本理念に則ったプランとしてほしい。
- ・ 啓発記事の作成は、男女共同参画を学ぶ上での良い機会となった。
- ・ 今回作成した記事は素人が作ったものなので、修正点多々あると思うが、専門である広報担当とともに適宜修正してほしい。
- ・ 出前講座の開催希望がないのは、地域のニーズに合ったテーマとなっていないのではないか。今年は「防災」をテーマとした方が、地域の関心を集められるかもしれない。
- ・ 地域に投げ掛けをしたくても「防災」と「男女共同参画」が結び付かない。→別のことのように思えるが、社会のあらゆる場所に「男女」に関する問題があり、「防災」は切り口の一つだと考えてほしい。
- ・ 「女性の視点での防災」ということも、最近ではよく話題となっている。例えば、避難所におけるトイレでは、痴漢の被害が頻発しており、男女を分けてトイレを用意することや、トイレの周辺を明るくして犯罪を未然に防ぐことといった配慮が女性の視点からでないとなかなか出てこない。
- ・ 女性防災隊も毎月活動しており、開催の希望があれば少人数でも実施している。「防災」をテーマに呼び掛けを行うことはできないか。→「防災」を再びテーマとしてもよいと思うが、「介護」をテーマとして既に地域に周知しているので、「テーマ」の変更は次年度の課題とし、まずは身の回りやお住まいの地域で呼び掛けてほしい。
- ・ 啓発の手法として、ジャンパーやのぼり旗を活用した目立つPRを行えるとよい。→次期プランの策定と合わせて検討していきたい。
- ・ 「男女共同参画」の言葉の印象が固いとのことで、別の言い回しにする等の工夫がされているが、あえて言い回しを変えず「男女共同参画」という言葉のまま啓発を貫くのも手と思う。

5. 決定事項

- 平成23年度 第3回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会の公開の決定。
 - ※ 『資料3-3 (名簿)』は公開しない。
- 「アンケート調査の実施結果」の公表。
 - ※ 考察を加えた「完成版」をホームページで公表する。
 - ※ 自由意見のその他（関係のない意見）については削除する。
- 「(仮称) 第2次 にのみや男女共同参画プラン (骨子案)」の策定。
- 広報にのみや (11月号) への啓発記事の掲載。
- 地域組織への出前講座の周知について
- 男女共同参画講演会 (葛川サミット: 中井町、二宮町、大磯町) への協力
 - ※ 各選出母体や周囲にチラシを配布して参加を呼び掛けてもらう。
 - ※ 出席できる委員に、当日の手伝い(司会や受付等)に協力してもらう。
- 推進連絡会委員名簿 (委員相互連絡用) の更新
- 第4回推進連絡会の開催日時の決定。
 - ※ 12月14日 (水) 午後2時00分～午後4時00分